

令和7年第1回定例会(5月14日)

観光文化スポーツ部

産業観光委員会

【議案関係資料】

(当日配布)

5月14日提出

令和7年第1回定例会（5月14日）
産業観光委員会
議案関係提出資料

令和7年5月14日
観光文化スポーツ部

【議案（その他）関係】

スポーツ振興課 事業契約の締結について・・・・・・・・・・・・・・・・	3
-------------------------------------	---

事業契約の締結について

1 概要

新県立体育館整備・運営事業について、次のとおり事業契約を締結する。

- ・事業箇所 秋田市八橋運動公園 1 番12号外
- ・事業概要 統括管理、設計、建設、開業準備、維持管理及び運営業務 一式
- ・事業方式 民間事業者が、施設等の設計及び建設後、県に所有権を移転し、維持管理及び運営を行う方式 (B T O方式)
- ・執行方法 一般競争入札
- ・契約金額 32,523,023,412円 (税込)

施設整備費	: 25,993,540,520円
維持管理・運営費	: 8,370,766,642円
利用料金収入	: △1,841,283,750円
- ・相手方 秋田市旭北錦町39番 1 号
秋田アリーナPFIパートナーズ株式会社 代表取締役 高橋 康
(落札者の構成員が設立した特別目的会社)
- ・事業期間 契約締結の日から令和26年 3 月31日まで

特別目的会社

落札者 (清水建設グループ)

秋田県	事業契約	秋田アリーナパートナーズ(株)	出資	構成員	名称	役割
					清水建設(株)	統括管理、設計、建設
					(有)村田弘建築設計事務所	設計、工事監理
					中田建設(株)	建設
					(株)長谷駒組	建設
					(株)オーエンス	開業準備、維持管理、運営
					セントラルスポーツ(株)	開業準備、維持管理、運営、自主事業
					(株)コンベンションリンケージ	開業準備、運営、自主事業
協力企業	(株)環境デザイン研究所	設計、工事監理				

<参考>本事業に係るこれまでの経緯

年月日	内容
令和5年12月25日	新県立体育館整備基本計画策定
令和6年 7月19日	入札公告
11月 1日	入札取り止め
12月20日	再度入札公告
令和7年 2月14日	開札(3グループ参加)
3月 6日	PFI事業審査会(最優秀提案の選定)
3月 7日	落札者の決定・公表
4月30日	仮契約締結

2 主な提案内容

(1) 施設整備

① 整備概要

項目	内容
構造	鉄骨造
階数	地上4階建
高さ	アリーナ26.8m 体育館20.5m
建築面積	9,315㎡
延床面積	17,811㎡
観客席	アリーナ6,030席 体育館200席
緑地等面積	7,150㎡
車道・ロータリー面積	3,100㎡
第1駐車場(現体育館跡地)	200台
第2駐車場(气象台跡地)	200台

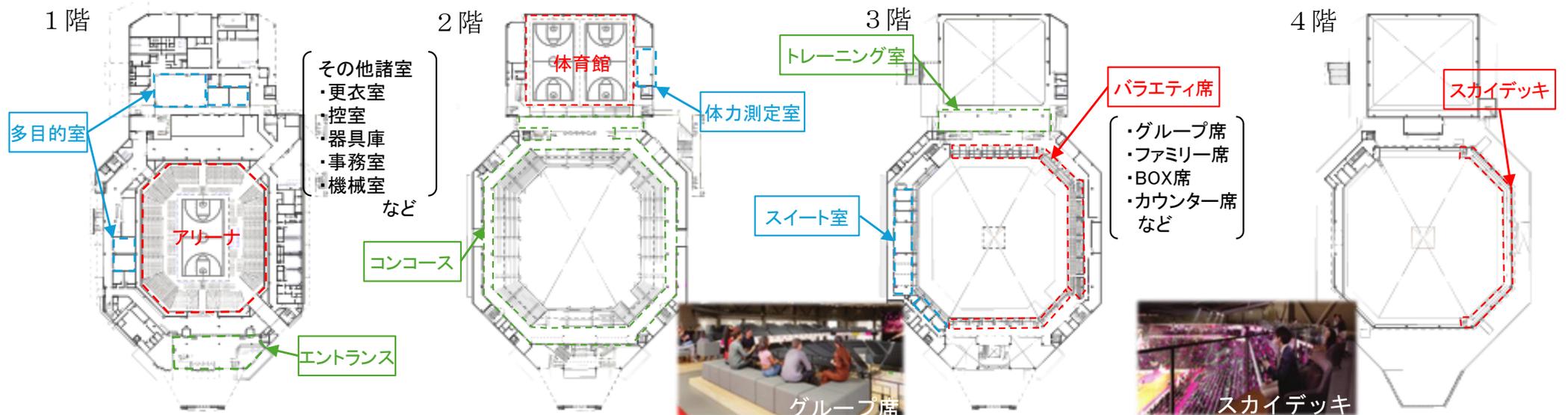
② 特徴

○アリーナ

- ・観客席がコートに近く、八角形のコートを取り囲むオクタゴンアリーナ
- ・バスケットボール2面、バレーボール3面、バドミントン10面、卓球17面
- ・搬出入トラックの乗り入れ可

○体育館

- ・フロア面と同一階に200席の観客席を設置
- ・上階周囲にランニングコースを整備

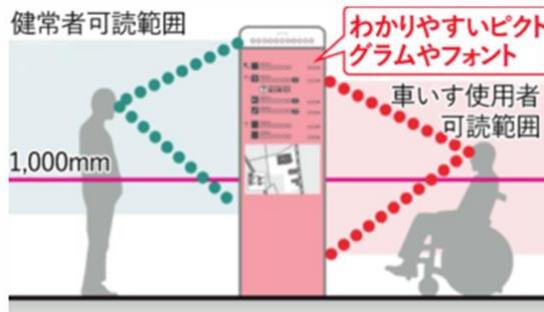


○多目的室

- ・可動式間仕切りにより可変性を高め、ダンス、ヨガなどのほか、卓球やフェンシングにも対応
- ・キッズスペースや授乳室を隣接

○ユニバーサルデザイン

- ・車いす利用者用の観戦エリアの整備
- ・わかりやすいピクトグラム案内表示
- ・防音仕様のセンサリールーム（※）を設置



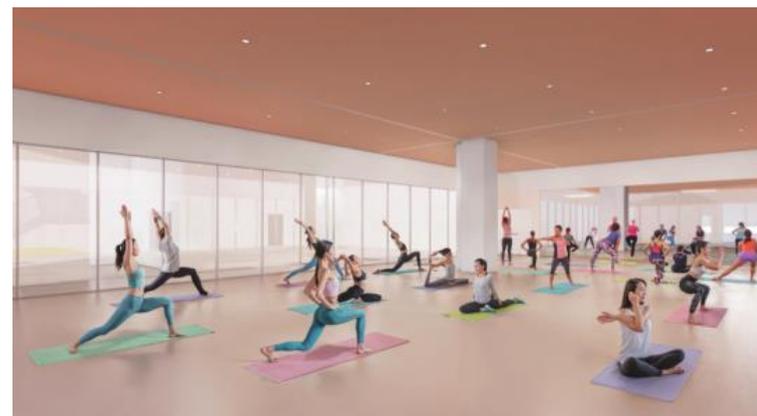
※聴覚、視覚などの感覚過敏の症状のある方やその家族が安心してスポーツ等を観戦できる部屋

○環境性能

- ・建物の高断熱化、高効率設備機器により、ZEB Orientedを達成（従来の建築物の基準一次エネルギー消費量から30%以上削減）

○一般開放

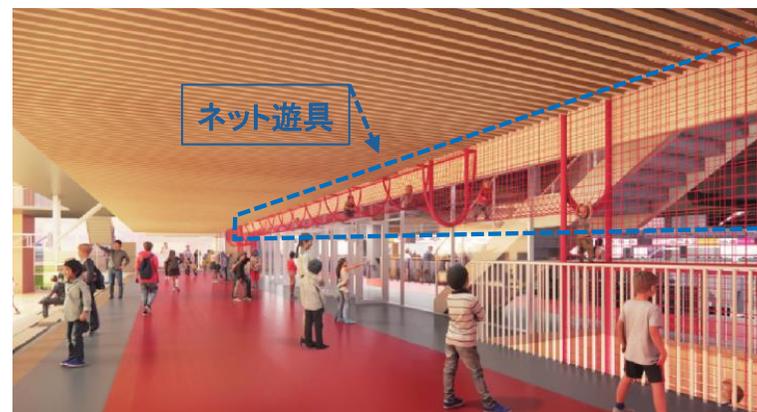
- ・アリーナと体育館を結ぶコンコース等に子どもの遊び場となる屋内遊具の設置
- ・県民のくつろぎの場となるエントランスホール等の整備



多目的室（ヨガ教室利用イメージ）



センサリールーム



コンコース（一般開放イメージ）

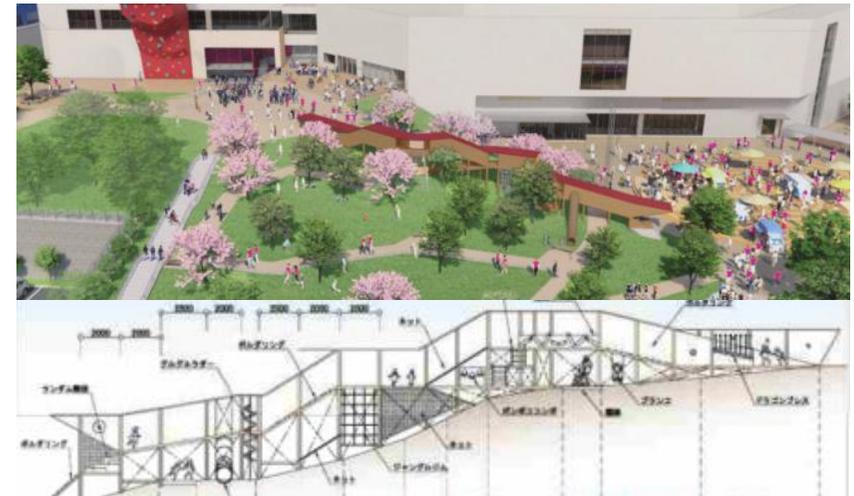
○緑地・広場

- ・ 建屋の周囲に4つの広場を整備
- ・ 斜面を利用した大型遊具やインクルーシブ遊具(※)の設置
- ・ 車いす利用者も安全に丘を上り下りすることができる園路の整備
- ・ 屋根付き通路を備えたロータリーの整備

※様々な特性を持つ子どもと一緒に遊べる遊具



4つの広場



大型遊具

(2) 維持管理業務

- ・ A I ロボット掃除機の活用などによる業務の効率化・省力化
- ・ B E M S（ビルエネルギー管理システム）によりエネルギーを「見える化」し、省エネを推進
- ・ 小修繕をきめ細かに実施し、施設機能を維持

(3) 運営業務・自主事業

- ・ コンサートやスポーツ大会等の誘致
- ・ 働く世代や高齢者などをターゲットとしたスポーツ教室や講座の開催
- ・ グルメ祭りやキッチンカーフェスティバルの開催
- ・ ワンストップ窓口としての総合案内の設置
- ・ ウェブ予約、キャッシュレス決済の導入（電話予約も対応）
- ・ 駐車場の混雑情報をホームページへ掲載

(4) 地域経済への貢献

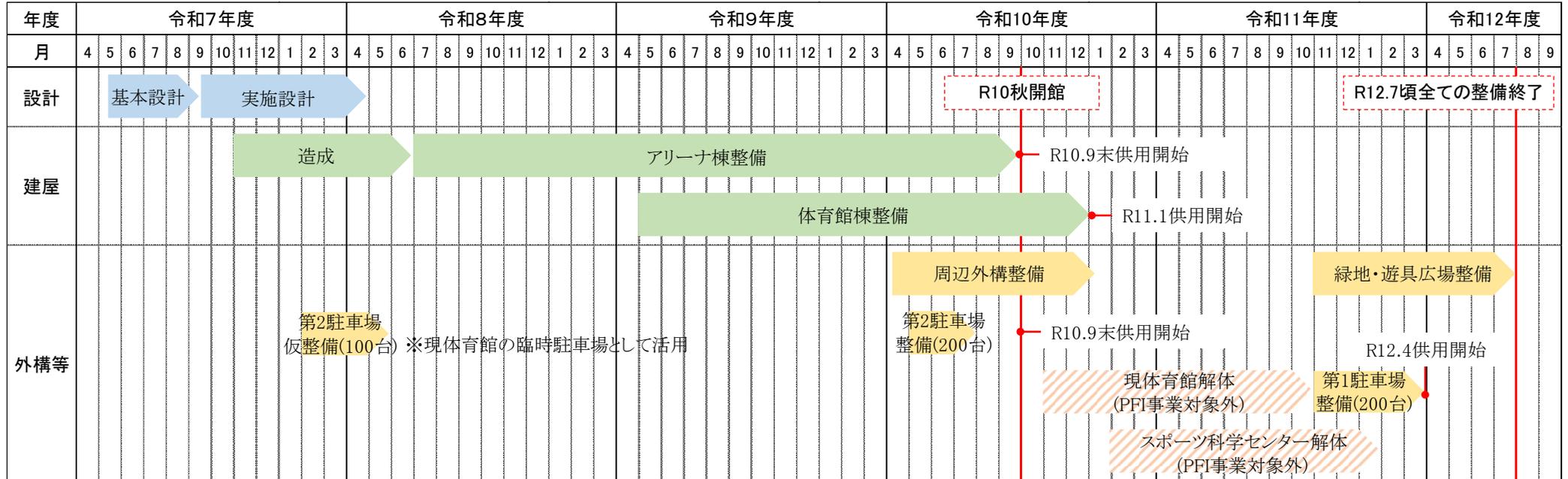
- ・ アリーナ床やスイート室内装等への県産材の活用
- ・ 県内企業の受注機会の創出（商工団体との連携など）
- ・ 維持管理業務、運営業務従事者の地元雇用の推進



V I Pスイート

(内装や家具、調度品に県産材を多用して利用者にその良さをアピール)

3 今後の整備スケジュール



※落札者の提案に基づく現時点での想定

内観透視図

